

平成22年度事業計画

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

1. 調査・研究の実施

- (1) 研究部会、分科会を開催し、その活動を通じて調査研究を進めるとともに、成果報告会等を通して会員等に周知する。また、関連学会・研究会と騒音・振動に関する情報交換を行い、会員活動の拡大を図る。
- (2) 騒音・振動関係の日本工業規格(JIS)の見直し・原案作成および国際規格(ISO、IEC)の審議に協力する。
- (3) 受託調査研究業務については、騒音・振動制御に関係する当学会として相応しい業務を受託し、騒音・振動技術の発展に努める。

2. 会誌、技術報告、学術書の刊行

- (1) 「騒音制御」34巻2号～35巻1号の6冊を隔月に発行し会員に配布する。その中で、会員のニーズに応じた特集記事を企画し誌面の充実を図るとともに、学会HPにカラー図表を掲載する等のサービスも積極的に行う。また、記事投稿の促進と執筆者への便宜、編集の効率化について検討するとともに、「騒音制御」の電子ファイル化の準備を行う。
- (2) 騒音・振動に係る解説書等の出版に向けて編集作業を継続して進めるとともに、学会としての出版活動の一層の充実を図る。

3. 研究発表会の開催

(1) 平成22(2010)年春季研究発表会の開催

平成22年4月22日(木)に(独)産業技術総合研究所臨海副都心センターにおいて春季研究発表会を開催し、講演論文集を刊行する。

セッション

- ① アクティブコントロールの現状と将来の展望(アクティブコントロール分科会)
- ② 設備系固体音の現況及び測定法(設備機器発生騒音測定法分科会)
- ③ 都市の気象と音響伝搬の予測(騒音伝搬分科会)
- ④ 音環境デザインにおける Noise Policy (音環境デザイン分科会)
- ⑤ ワークショップ: 高い周波数成分を含む騒音の取扱いをめぐって(高周波音検討分科会)

(2)平成22(2010)年秋季研究発表会の開催

平成22年9月28日～29日に新潟大学工学部において秋季研究発表会を開催し、講演論文集を刊行する。

(3)分科会の開催

研究の更なる推進を目的に各分科会を開催する。

4. 講演会、講習会、展示会、見学会の実施

(1)特別講演会等の開催

平成22年5月に開催する平成22年度通常総会において、特別講演会を開催する。また、平成22年9月に開催する秋季研究発表会において、特別講演、シンポジウム及び機器展示会を行う。

(2)技術講習会等の開催

技術講習会を年4回程度開催し、騒音・振動技術の普及・向上に努める。

5. 国内外の学会・協会との交流

(1)INTER-NOISE 2011の日本開催に向けて準備作業を行う。

(2)I-INCE 加盟団体としてその活動に協力するとともに、ICA、WESPAC、INCE/USA 等と情報交換を行う。

6. 業績の表彰、認定技士の資格認定

(1)学会の選奨制度を効果的に運用し、会員による騒音・振動技術の推進と普及を促し、社会への貢献を図るために、守田栄論文賞、研究功績賞、環境デザイン賞、研究奨励賞の贈呈を行う。

(2)資格制度に基づき社団法人日本騒音制御工学会認定技士の資格認定を行うとともに、活動の強化を図る。

7. 新公益法人制度への対応

新公益法人制度に対応して、本学会は、公益法人としての認定申請を行う。

8. その他

(1)新たな社会貢献事業の実施方法等について検討を行う。

(2)ホームページの充実と整備を継続的に行い、学会活動の基盤強化と会員に対する学会情報等の素早い伝達と周知を図る。